

## 地方創生施策評価シート（B）

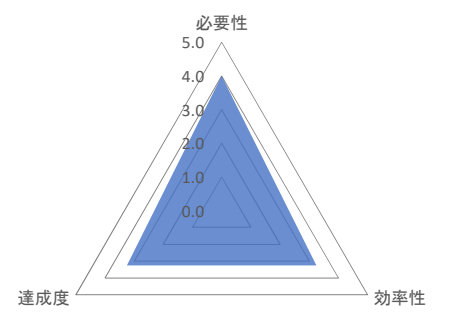
具体的な施策	シティプロモーションの促進				No.	2	①	-	1	具体的な施策	シティプロモーションの促進						No.	2	①	-	1					
事業名	シティプロモーションによる魅力発信事業				担当課		観光商工課			指標名	甲州市観光協会HP閲覧数						目標値									
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性			KPI実績値		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度									
		4	3	3	B	現状維持					件	38万件	34万件	36万件	37万件	38万件	年40万件									
	当面の課題	自然、文化、歴史、産業といった固有の地域資源が豊富にあり、これらを活用し、連携させた観光プログラムを企画・実施し、地域が主体となって「観光まちづくり」による取り組みが必要。									指標名	市をPRするイベント数						目標値								
	課題解決のための改善計画	現在の観光資源を見直して利用することによる、新しい体験型・参加型観光メニューの開発や新しいイベントの開発を行うことにより、年間を通じた本市の魅力を訴求し、常に新しい発想を導入することで本市の魅力アップを図ります。										KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度							
担当課長の総括意見	最近の旅行ニーズが参加型・体験型へと変化していることを考えると旅先での交流が強い印象を残します。本市特有の観光資源を確立し観光地としての品質を強化していくこと。								件	61件			55件	58件	48件	45件	年50件									
担当課長の総括意見	最近の旅行ニーズが参加型・体験型へと変化していることを考えると旅先での交流が強い印象を残します。本市特有の観光資源を確立し観光地としての品質を強化していくこと。								指標名							目標値										
KPI実績値									単位	平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度										
事業名	情報発信と人的ネットワークの構築				担当課		観光商工課			当該年度の評価・課題等																
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性			本年度までのKPIについては、甲州市観光協会HP閲覧数、市をPRするイベント数ともにほぼ達成している。各事業の課題については、シティプロモーションによる魅力発信事業では、豊富にある地域資源を活用するよう地域が主体となった「観光まちづくり」による取り組みが必要と思われる。情報発信と人的ネットワークの構築では、2020年の東京オリンピックにともない増加すると思われる、外国人旅行者の受入態勢の整備、国際化に対応した観光地づくりが課題となり、個々の事業者の認識向上と連携した体制づくりが必要となっている。																	
		4	4	2	B	拡大・充実																				
	当面の課題	外国人旅行者の受入態勢の整備、国際化に対応した観光地づくりのため、個々の事業者の認識向上と連携した体制づくりが必要。																								
	課題解決のための改善計画	外国語パンフレットの活用推進、インバウンド向けの、おもてなし養成講座の登録制度の推進。																								
担当課長の総括意見	多様化している情報発信手段への対応と本市特有の観光資源を確立し観光地としての品質を強化していくこと。外国人旅行者のニーズに合わせた取組や通年を意識した観光PR、広域連携を図り、甲州市内及び峡東地域での滞在時間を増やす取組を望む。																									
事業名					担当課					施策の評価	シティプロモーションによる魅力発信事業については、最近の旅行ニーズが参加型・体験型へと変化しているので、新しい体験型・参加型観光メニューの開発や新しいイベントの開発を行うことにより、年間を通じた本市の魅力を訴求し、常に新しい発想を導入することで本市の魅力アップを図る。情報発信と人的ネットワークの構築では、外国語パンフレットの活用推進、外国語対応のできるガイドのおもてなし養成講座や登録制度の推進を図るとともに、観光地としての品質を強化し、外国人旅行者のニーズに合わせた取組や通年を意識した観光PR、広域連携により、甲州市内及び峡東地域での滞在時間を増やす取組に努める。															
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: #ffffcc;">施策内事業評価の平均値</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;">必要性</td> <td style="background-color: #ffffcc;">4.0</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;">効率性</td> <td style="background-color: #ffffcc;">3.5</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;">達成度</td> <td style="background-color: #ffffcc;">2.5</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;">総合評価</td> <td style="background-color: #ffffcc;">B</td> </tr> </table>						施策内事業評価の平均値			必要性	4.0	効率性	3.5	達成度	2.5	総合評価	B	
		施策内事業評価の平均値																								
	必要性	4.0																								
	効率性	3.5																								
達成度	2.5																									
総合評価	B																									
当面の課題																										
課題解決のための改善計画																										
担当課長の総括意見																										

# 地方創生施策評価シート (B)

具体的な施策		地域資源を活用した新たな魅力づくり				No.	2	-	②	-	1	具体的な施策		地域資源を活用した新たな魅力づくり						No.	2	-	②	-	1
事業名	寺社仏閣・名勝・旧跡等のPR活動				担当課	観光商工課						指標名	JR各駅の乗降者数						目標値						
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性							KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度						
	4	3	2	C	方法改善								人	203万人	204万人	195万人	201万人	195万人	年220万人						
当面の課題	伝統文化や神社仏閣、史跡等と連携した観光メニューを、文化財課と連携してプラス@の魅力発信が必要。											KPI	指標名							目標値					
課題解決のための改善計画	地域文化を掘り起こし再発見し、愛着の持てる観光まちづくりの推進、来訪者とともに楽しめる「交流・体験型観光」の推進。武田信玄公生誕500周年記念(2021)を活用した企画の実施。												KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度					
担当課長の総括意見	本市は、武田家代々の遺産や数多くの神社仏閣などの歴史遺産と地域文化を有している。こうした特性は観光資源として全国に誇りうるものであり、観光的活用を促進していく。												指標名							目標値					
													KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度					
事業名	街道型フットパスコースの設定				担当課	観光商工課						当該年度の評価・課題等													
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性							本年度までのKPIについては、横ばいで推移しており未達成であった。各事業の課題については、寺社仏閣・名勝・旧跡等のPR活動では、伝統文化や神社仏閣、史跡等と連携した観光メニューを、文化財課と連携してプラス@の魅力発信が必要である。街道型フットパスコースの設定では、コースの充実を図り満足度と市の魅力の向上を図る必要がある。													
	4	3	3	B	拡大・充実																				
当面の課題	地域資源を活用したフットパスコースを充実させ、ニューツーリズムの推進とともに、観光客の選択肢を増やし、満足度並びに魅力度の向上を図る。											計画の方向性													
課題解決のための改善計画	本市が有する歴史的遺産や産業文化などの地域資源を活用し、市関係団体及び有識者等の意見も取り入れる中で、既存のフットパスコースの見直し、並びに新たなコースの設定に取り組む。																								
担当課長の総括意見	ぶどう栽培やワイン醸造を始めとした産業文化、あるいは武田家ゆかりの史跡を始めとする歴史的遺産など、本市の地域的特性を十分に活用し、更なる観光誘客促進を図る。																								
事業名					担当課							武田信玄公生誕500周年記念(2021)を活用した企画の実施。ぶどう栽培やワイン醸造を始めとした産業文化、武田家ゆかりの史跡を始めとする歴史的遺産など、本市の地域的特性を十分に活用し、更なる観光誘客促進を図る。													
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性							施策内事業評価の平均値													
当面の課題												必要性	4.0												
課題解決のための改善計画												効率性	3.0												
担当課長の総括意見												達成度	2.5												
												総合評価													
事業名					担当課																				
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性																				
当面の課題																									
課題解決のための改善計画																									
担当課長の総括意見																									

# 地方創生施策評価シート (B)

具体的な施策	来訪者に対する受け入れ体制の整備とネットワーク化	No.	2	③	1	具体的な施策	来訪者に対する受け入れ体制の整備とネットワーク化	No.	2	③	1			
事業名	観光案内所ネットワーク事業					担当課	観光商工課							
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	KPI	指標名	観光案内所利用者数					目標値
		4	3	2	C	現状維持		KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	当面の課題	観光客の旅行動向の変化により、観光案内所の利用者数は減少傾向にあるが、求められる情報の詳細化や広域化等、役割が多様化している。						指標名						目標値
	課題解決のための改善計画	観光案内機能を向上させるため、観光案内サービスのさらなる充実、観光案内機能がある施設と観光案内所における情報共有の強化により、タイムリーな情報の共通把握を行うシステム構築を図る。						KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
担当課長の総括意見	観光案内機能やネットワーク化の充実により、観光案内サービスのさらなる向上を図るとともに、来訪者の様々なニーズへの対応と受け入れ体制の強化を促進していく。					指標名							目標値	
事業名	来訪者に対する受け入れ体制の整備強化					担当課	観光商工課							
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	KPI	当該年度の評価・課題等						
		4	4	3	B	現状維持		本年度までのKPIについては、減少傾向で推移し、未達成であった。ICTの進展(スマートフォンの普及とアプリの充実)による影響も考えられる。各事業の課題については、観光案内所ネットワーク事業では、観光客の旅行動向の変化により、観光案内所の利用者数は減少傾向にあるが、求められる情報の詳細化や広域化等、役割が多様化している。来訪者に対する受け入れ体制の整備強化では、観光施設及び交流体験施設の老朽化対策、自然保全団体・組織の育成強化、インバウンド対策としてリニューアル整備の拡充、人的ネットワークの構築を促進する必要がある。観光拠点のネットワークでは、観光拠点の整備や観光情報の整理など、来訪者の受け入れ体制並びにネットワーク化を推進することにより、来訪者の様々なニーズに対応した快適な滞在の実現と魅力度アップを図る必要がある。歩くまちづくりの推進では、フットパスコースの案内看板等の環境整備やパンフレット等の充実などにより、来訪者の受け入れ体制を整えるとともに、「歩く」イベント情報を一元化し、多様化する来訪者のニーズに対応できる情報の発信が必要と考える。						
	当面の課題	観光施設及び交流体験施設の老朽化対策。自然保全団体・組織の育成強化。インバウンド対策としてリニューアル整備の拡充。人的ネットワークの構築。						施策の評価	計画の方向性					
	課題解決のための改善計画	老朽化対策として、緊急の修繕項目を除き、優先順位付けによる改善計画。インバウンド対応として各施設等に多言語・ピクトグラム等の案内表示を設置し設備の充実を図る。							観光案内所ネットワーク事業については、観光案内機能を向上させるため、観光案内サービスのさらなる充実、観光案内機能がある施設と観光案内所における情報共有の強化により、タイムリーな情報の共通把握を行うシステム構築を図る。来訪者に対する受け入れ体制の整備強化では、施設の老朽化対策として、改善計画にもとづく優先的整備を図り、また、インバウンド対応として各施設等に多言語・ピクトグラム等の案内表示を設置し設備の充実を図っていく予定であるが、関連事業者と地域住民の主体的な迎え入れる施策に取り組んでいく。観光拠点のネットワークでは、観光拠点とフットパスコースの融合により、歴史遺産などの観光資源としての活用と、「歩いて巡る」ニューツーリズムによる通年型の観光地づくりの促進に繋げる。また、レンタサイクルとの融合により、より広範囲に周遊できる環境を作り出すなど、来訪者のニーズに対応するよう充実を図る。歩くまちづくりの推進では、観光の形態として体験型・交流型のニューツーリズムが注目されており、「ある〜く ころしゅう」の推進により、地域資源等を活かしたウォーキング・トレッキングを楽しみながら市民参加のまちづくり・健康づくりを進め、ひいては市外への甲州市の魅力の発信を図る。					
担当課長の総括意見	観光施設の充実は関連事業者だけではなく、地域住民が創意工夫をし主体的な取り組みにより来訪者を迎え入れる施策に積極的に取り組んでいきたい。													
事業名	観光拠点のネットワーク					担当課	観光商工課							
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	施策の評価		計画の方向性					
		4	3	4	B	現状維持		観光案内所ネットワーク事業については、観光案内機能を向上させるため、観光案内サービスのさらなる充実、観光案内機能がある施設と観光案内所における情報共有の強化により、タイムリーな情報の共通把握を行うシステム構築を図る。来訪者に対する受け入れ体制の整備強化では、施設の老朽化対策として、改善計画にもとづく優先的整備を図り、また、インバウンド対応として各施設等に多言語・ピクトグラム等の案内表示を設置し設備の充実を図っていく予定であるが、関連事業者と地域住民の主体的な迎え入れる施策に取り組んでいく。観光拠点のネットワークでは、観光拠点とフットパスコースの融合により、歴史遺産などの観光資源としての活用と、「歩いて巡る」ニューツーリズムによる通年型の観光地づくりの促進に繋げる。また、レンタサイクルとの融合により、より広範囲に周遊できる環境を作り出すなど、来訪者のニーズに対応するよう充実を図る。歩くまちづくりの推進では、観光の形態として体験型・交流型のニューツーリズムが注目されており、「ある〜く ころしゅう」の推進により、地域資源等を活かしたウォーキング・トレッキングを楽しみながら市民参加のまちづくり・健康づくりを進め、ひいては市外への甲州市の魅力の発信を図る。						
	当面の課題	観光拠点の整備や観光情報の整理など、来訪者の受け入れ体制並びにネットワーク化を推進することにより、来訪者の様々なニーズに対応した快適な滞在の実現と魅力度アップを図る。												
	課題解決のための改善計画	観光拠点とフットパスコースを融合させ、地域資源を巡るようなコース設定をすることによりニューツーリズムの推進を図る。また、より広範囲に観光拠点を巡ることができるようレンタサイクルとの融合と充実を図る。												
担当課長の総括意見	観光拠点とフットパスコースの融合により、歴史遺産などの観光資源としての活用と、「歩いて巡る」ニューツーリズムによる通年型の観光地づくりの促進に繋げる。また、レンタサイクルとの融合により、より広範囲に周遊できる環境を作り出すなど、来訪者のニーズに対応するよう充実を図る。													
事業名	歩くまちづくりの推進					担当課	観光商工課							
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	施策の評価	計画の方向性						
		4	3	4	B	現状維持		観光案内所ネットワーク事業については、観光案内機能を向上させるため、観光案内サービスのさらなる充実、観光案内機能がある施設と観光案内所における情報共有の強化により、タイムリーな情報の共通把握を行うシステム構築を図る。来訪者に対する受け入れ体制の整備強化では、施設の老朽化対策として、改善計画にもとづく優先的整備を図り、また、インバウンド対応として各施設等に多言語・ピクトグラム等の案内表示を設置し設備の充実を図っていく予定であるが、関連事業者と地域住民の主体的な迎え入れる施策に取り組んでいく。観光拠点のネットワークでは、観光拠点とフットパスコースの融合により、歴史遺産などの観光資源としての活用と、「歩いて巡る」ニューツーリズムによる通年型の観光地づくりの促進に繋げる。また、レンタサイクルとの融合により、より広範囲に周遊できる環境を作り出すなど、来訪者のニーズに対応するよう充実を図る。歩くまちづくりの推進では、観光の形態として体験型・交流型のニューツーリズムが注目されており、「ある〜く ころしゅう」の推進により、地域資源等を活かしたウォーキング・トレッキングを楽しみながら市民参加のまちづくり・健康づくりを進め、ひいては市外への甲州市の魅力の発信を図る。						
	当面の課題	フットパスコースの案内看板等の環境整備、あるいはパンフレット等の充実など、来訪者の受け入れ体制を整えるとともに、「歩く」イベント情報を一元化し、多様化する来訪者のニーズに対応できるよう情報を発信していく。												
	課題解決のための改善計画	フットパスコースの案内看板やパンフレットなど、快適に歩くことができる環境整備の充実を図る。また、地域資源を活用したフットパスやウォーキングイベントにより、市民の健康づくりやまちづくりの推進とともに、市外への魅力発信に繋げる。												
担当課長の総括意見	近年では観光の形態として体験型・交流型のニューツーリズムが注目されている。「ある〜く ころしゅう」の推進により、地域資源等を活かしたウォーキング・トレッキングを楽しみながら市民参加のまちづくり・健康づくりを進め、ひいては市外への甲州市の魅力の発信を図る。													
							施策内事業評価の平均値							
							必要性	4.0						
							効率性	3.3						
							達成度	3.3						
							総合評価	B						



## 地方創生施策評価シート（B）

具体的な施策	移住情報等の発信					No.	2	④	1	具体的な施策	移住情報等の発信							No.	2	④	1
事業名	移住情報の一括発信					担当課		政策秘書課		KPI	ガイドブック発行数							目標値			
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性		KPI実績値							目標値						
		4	4	4	B	現状維持		単位	平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度	部	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部	10,000部
	当面の課題	サイトの閲覧数は伸びているが、情報更新率が弱く、オンタイム情報としての魅力がアップしていかない。一部委託を行い、より定期的に情報の更新及び充実をはかる体制をとったが、今後その更新の継続と内容の精査及び更新箇所のPR等をどのように実施していくかが課題である。									指標名							目標値			
	課題解決のための改善計画	一部委託した部分の連携を密に行い、取材アップの内容と移住者の求める情報のマッチングさせるようにする。また移住希望者の興味が高い空き家バンクの情報発信の方法の検討を行いより充実したサイトへと引き続き管理を行っていく。									KPI実績値							目標値			
担当課長の総括意見	冊子版とWEB版の情報の連携と区分をうまく行い実際に移住希望者や関係人口となりうる人たちが魅力を感じると共に、必要としている情報をしっかり伝えられるように、委託者等と連携して発信するようにする。 また、移住対策に特化した情報を提供していく。									指標名							目標値				
事業名	情報の発信体制の整備					担当課		政策秘書課		KPI	当該年度の評価・課題等										
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性		本年度までのKPIについては、次期では指標の変更が必要と思われる。 各事業の課題については、移住情報の一括発信では、サイトの閲覧数は伸びているが、情報更新率が弱く、オンタイム情報としての魅力がアップしていかない。今後は更新の継続と内容の精査及び更新箇所のPR等をどのように実施していくかが課題である。情報の発信体制の整備では、毎年2回発行してきたが、今年度からは年1回とし、発行数は10,000部とした。内容を観光的なものから移住に特化した内容とし、年間を通じて使えるものとした。このためKPI発行数20,000部からは半減となったが、内容の充実を図っている。過去に発行した情報誌の在庫を抱えており、内容の充実とともに活用方法も課題である。													
		5	4	3	B	拡大・充実		内容的には、移住に係るバイブル的なものとし、発行準備を進めており、令和2年1月下旬に発行予定。移住相談会やお試し住宅利用者での活用はもとより、市内においても本市の移住対策を紹介する機会として、市公共施設のほか市内金融機関など市民の目触れる場所での活用を目指している。													
	当面の課題	毎年2回発行してきたが、今年度からは年1回とし、発行数は10,000部とした。内容を観光的なものから移住に特化した内容とし、年間を通じて使えるものとした。このためKPI発行数20,000部からは半減となったが、内容の充実を図っている。過去に発行した情報誌の在庫を抱えており、内容の充実とともに活用方法も課題である。									計画の方向性										
	課題解決のための改善計画	内容的には、移住に係るバイブル的なものとし、発行準備を進めており、令和2年1月下旬に発行予定。移住相談会やお試し住宅利用者での活用はもとより、市内においても本市の移住対策を紹介する機会として、市公共施設のほか市内金融機関など市民の目触れる場所での活用を目指している。									移住情報の一括発信については、取材アップの内容と移住者の求める情報のマッチングさせ、移住希望者の興味が高い空き家バンクの情報発信の方法の検討を行いより充実したサイトへとする。冊子版とWEB版の情報の連携と区分をうまく行い、実際に移住希望者や関係人口となりうる人たちが魅力を感じる発信とする。継続的にタイムリーな情報発信に努めるとともに、情報更新の体制の構築及び冊子版とWeb版との連帯性の強化を行い、交流人口から関係人口に発展していくような人々をターゲットに、より充実した注目度の高い情報発信に努めていく。情報の発信体制の整備については、大学生による取材や編集による内容は、学生目線を大事にしつつ若者世代への施策的な情報発信にも心がけるようにしていくとともに、ポータルサイトによるオンタイムな情報発信に赴き置きながら、ペーパー媒体としての特徴や役割を十分に発揮するように検証しながら継続する。内容的には、移住に係るバイブル的なものとし、発行準備を進めており、令和2年1月下旬に発行予定。移住相談会やお試し住宅利用者での活用はもとより、市内においても本市の移住対策を紹介する機会として、市公共施設のほか市内金融機関など市民の目触れる場所での活用を目指している。										
担当課長の総括意見	大学生による取材や編集ということで好評ではあるが、文書内容は学生目線を大事にしつつ若者世代への施策的な情報発信にも心がけるようにしていく、ポータルサイトによるオンタイムな情報発信に赴き置きながら、ペーパー媒体としての特徴や役割を十分に発揮するように検証しながら継続する。									施策の内事業評価の平均値											
事業名						担当課				施策の評価	必要性		4.5								
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性					効率性		4.0								
											達成度		3.5								
	当面の課題										総合評価		B								
	課題解決のための改善計画																				
担当課長の総括意見																					

# 地方創生施策評価シート（B）

具体的な施策	地域資源視察・観光巡回バスの運行	No.	2	⑤	-	1	具体的な施策	地域資源視察・観光巡回バスの運行	No.	2	⑤	-	1		
KPI	事業名	地域資源視察・交流バス				担当課	政策秘書課	指標名	巡回バス利用者数					目標値	
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性		KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度
	当面の課題	1	1	1	E	廃止/休止		KPI実績値	人	0人	0人	21人	0人	0人	年1,500人
	課題解決のための改善計画	市内循環・巡回バスの運行については、市民向け、交流者向けそれぞれに必要性があるが、現在のところ市民向けのデマンドバス等の運行のみとなっている。交流者等に本市の資源や魅力を多くの方に知ってもらうことはもちろん必要だが、費用対効果等を考え、実施形態の見直しが必要である。						指標名						目標値	
	担当課長の総括意見	市内の資源や魅力の発信を「甲州らいふ」やWEBサイト等で充実するとともに、受け入れ態勢の充実を図る。定住まで結びつけるには個別にきめ細かな支援が必要のため、移住コンシェルジュの活用や空き家情報バンク、お試し住宅の充実が必要となってくる。						KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度
担当課長の総括意見	地域資源視察・観光循環バスの運行にこだわらず、広く本市の資源や魅力を知っていただく機会の創出に努めるべきである。						KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度	
施策の評価	事業名					担当課		当該年度の評価・課題等							
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性		KPIも含めて再検討が必要と思われる。未達成。 市内循環・巡回バスの運行については、市民向け、交流者向けそれぞれに必要性があるが、現在のところ市民向けのデマンドバス等の運行のみとなっている。交流者等に本市の資源や魅力を多くの方に知ってもらう実施形態の見直しが必要である。							
	当面の課題							計画の方向性							
	課題解決のための改善計画							市内の資源や魅力の発信を「甲州らいふ」やWEBサイト等で充実するとともに、受け入れ態勢の充実を図る。定住まで結びつけるには個別にきめ細かな支援が必要のため、移住コンシェルジュの活用や空き家情報バンク、お試し住宅の充実が必要となってくる。施策の再検討が必要となっている。							
	担当課長の総括意見														
施策の評価	事業名					担当課		施策内事業評価の平均値							
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性		必要性	1.0						
	当面の課題							効率性	1.0						
	課題解決のための改善計画							達成度	1.0						
	担当課長の総括意見							総合評価	E						

# 地方創生施策評価シート（B）

具体的な施策	空き家を利用した移住の促進					No.	2	⑥	1	具体的な施策	空き家を利用した移住の促進					No.	2	⑥	1	
KPI	事業名	移住促進事業				担当課	政策秘書課				指標名	空き家バンク取引成立件数					目標値			
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性					KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度		
		4	4	4	B	拡大・充実						件	2件	6件	4件	6件	6件	年5件		
	当面の課題	甲州市空き家情報バンクの運営について、登録物件の多種多様化と、利用者の重要な把握や両者のマッチング等専門的要素が増大しているため、一括して相談を受け総合窓口等の設置により、民間活力との連携を構築し、スピーディーな対応をしていく必要がある。また、市内宅建協会との密な連携が必要となる。									指標名						目標値			
	課題解決のための改善計画	空き家対策の利活用の推進として、空き家情報バンクによる空き家を含む流通促進につなげるための民間組織の構築を目指すため、㈱LIFULL、山梨中央銀行と連携協定を結び事業を展開している。									KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度		
担当課長の総括意見	空き家の需要は昨今増加していると感じられる、移住者や関係人口の増加につながる空き家の活用について空き家バンクの効率化を含めて空き家対策と連携をしながら進めていく。									指標名						目標値				
										当該年度の評価・課題等										
										<p>本年度までのKPIについては、達成であった。</p> <p>各事業の課題については、移住促進事業では、甲州市空き家情報バンクの運営について、登録物件の多種多様化と、利用者の重要な把握や両者のマッチング等専門的要素が増大しており、民間活力との連携を構築し、一括して相談を受け総合窓口等の設置によりスピーディーな対応をしていく必要がある。また、市内宅建協会との密な連携が必要となる。空き家対策の推進では、平成30年度から、空き家対策と空き家活用で分担組織構成となり、空き家の把握及びその後の対応への判断が課題となっている。また、㈱LIFULL、山梨中央銀行との連携協定及び市内宅建協会等の連携強化により、移住対策としての空き家情報バンクの役割が今後増大するので、本事業の重要性が増すことが考えられる。</p>										
施策の評価	事業名	企業の地方移転促進等の仕組みづくり				担当課	政策秘書課													
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性														
		4	4	4	B	現状維持														
	当面の課題	昨年5月に開設した「シェアオフィス甲州」については、2階のコワーキングスペースの活用や1階部分のレンタルオフィス、サテライトオフィスについて活用方法を明確にしたうえで利用者の増加を図ることが重要である。																		
	課題解決のための改善計画	先進地視察を行うとともに、「ワーケーション」等時代に合った活用方法を確認したうえでPRしていく。																		
担当課長の総括意見	サテライトオフィスの誘致にかかる事業所の需要等を確認しながら、利用者を増加させるため施策を進めるようにする。																			
										施策内事業評価の平均値										
事業名					担当課					必要性	4.0									
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性					効率性	4.0									
当面の課題										達成度	3.7									
課題解決のための改善計画										総合評価	B									
担当課長の総括意見																				

